

8. ベトナム

■正式国名：ベトナム社会主義共和国

Socialist Republic of Viet Nam

■政治形態：社会主義共和制

■面積：33.1万km²（日本の約87%）

■人口：9,819万人

■言語：ベトナム語

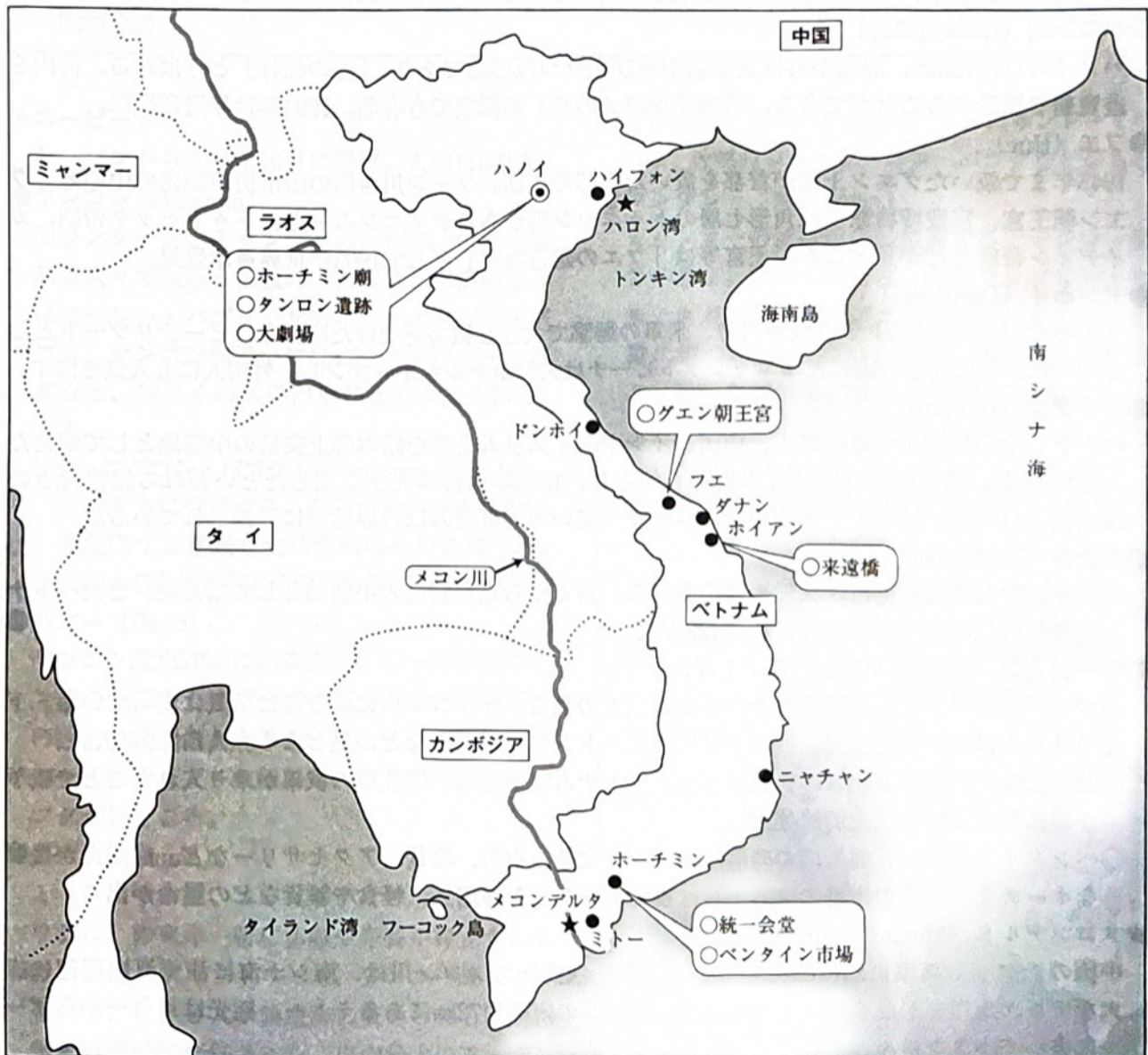
■通貨：ドン（1ドン=0.0062円）

■住民：ベトナム族（キン族）が86%、その他中国人、タイ族、モン族、ミャオ族などの少数民族が住む。

■宗教：主に仏教（大乘）、その他道教、カトリック、カオダイ教、ホアハオ教など。

■地勢：インドシナ半島の東部を占め、南北に長いS字形をしている。北はトンキン湾、中部は南シナ海、南部はタイランド湾に面している。中国と国境を接する北部は丘陵性の山岳地であり、南シナ海が迫る中部地方の地形は急傾斜して河川は短い。南部は大河メコン川の肥沃なデルタ地帯で米の一大生産地である。

■気候：北部は亜熱帯で四季があるが、南部は熱帯で、雨季と乾季がある。



- 観光：ハロン湾遊覧。ボートでメコンデルタ沿いの村を見学
- 名物料理：フォー（平打ちの米麺、鶏肉や牛肉入りスープ）。ゴイ・クオン（エビ、野菜、細い米麺入り生春巻）。チャーカー・ティー・ラ（魚のさつま揚げ）
- 土産品：陶器。刺繍製品。アオザイ（ロングドレス）。漆製品。木彫製品。コーヒー
- アトラクション：水上人形劇（ベトナム北部の農村の祭りから始まった伝統芸能。水面から人形が現れ、民話などを演じる）。ニャーニャック（フエの雅楽）

◎ハノイ（Ha Noi）

ベトナム北部に位置するベトナムの首都。南部のホーチミンが経済の中心であるのに対して、ハノイは政治・文化の中心である。町の中心にホアンキエム湖、北側に広いタイ湖が広がり、街路樹にフランス様式の建物が映える穏やかな町である。伝統芸能の水上人形劇が有名。下記の3つのほか歴史博物館、仏教の古刹一柱寺、ベトナム最初の大学跡文廟、ホーチミン博物館、ハノイ36通り（旧市街）、ドンスアン市場などが見どころ。人口844万人。

- ホーチミン廟／独立のために戦った国父ホーチミンの遺体が生前のまま安置されている。
- タンロン遺跡／11世紀からのベトナム王朝（李朝）の城跡。世界遺産。
- 大劇場／1911年、パリのオペラ座を模して建てられたコロニアル建築のオペラ・ハウス。

★ハロン湾（Halong Bay）

ハノイの東約150km、海面から巨大な岩がそびえ立つ景勝地であり、「海の桂林」と呼ばれる。湾内を遊覧船で探勝することができる。珍味「ツバメの巣」の採集でも有名。1994年世界遺産登録。

●フエ（Hue）

1945年まで続いたグエン王朝が首都を置いた中部の古都。フォン川西岸の旧市街が観光の中心地。グエン朝王宮、宮殿博物館、八角形七層のトゥニャン塔があるティエンムー寺、トゥドック帝廟、カイディン帝廟などが見どころ。王宮等は「フエの建造物群」として1993年世界遺産登録。

●ドンホイ（Dong Hoi）

フエの北西155km。ベトナム戦争当時、米軍の爆撃で大きな被害を受けた町。今はビーチリゾートとして知られ、特に長さ数kmに及ぶニャレットビーチは大型ホテルもオープンし、外国人にも人気を博す。

●ホイアン（Hoi An）

ベトナム中部に位置する。日本、中国、インド、イスラム世界を結ぶ海上交易の中継地として栄えた古都である。16～17世紀には日本人町も作られ、1593年に日本人が建設したといわれる屋根付きの来遠橋（日本橋）はホイアンのシンボルとなっている。町並みは世界遺産に登録されている。

●ダナン（Da Nang）

ベトナム中部最大の港町。天然の良港を持ち、古くから東西貿易の中継地として栄えた。またベトナム戦争激戦地のひとつである。人口122万人。

●ホーチミン（Ho Chi Minh 旧名サイゴン）

かつて「東洋のバリ」と称されたベトナム最大の都市。サイゴン川に臨む町は活気に満ちている。下記の2つのほか中央郵便局、戦争証跡博物館、ドンコイ通り、などが見どころ。人口939万人。

- 統一会堂／旧南ベトナムの大統領官邸。ベトナム戦争当時、解放軍の戦車が乗り入れたことで戦争が終結したという歴史的建築物。
- ベンタイン市場／正面入口の時計台が目印。食品、衣料、雑貨、アクセサリなど、品揃えが豊富なホーチミン最大の市場。夕方からは夜のマーケットが開き、軽食や雑貨などの屋台が出る。

★メコンデルタ（Mecon River）

中国のチベット高原東部に源流を発する。全長4,425kmのメコン川は、南シナ海に注ぐ河口周辺に広大なデルタ地帯を形成する。中心地はホーチミンの南西約72kmにあるミトー。観光はミトーからボートに乗って小さな村々とそこでの生活を見学する。